



▲山中湖を照らす日の出は絶景でした

まちのわだい 夏特大号



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎526550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!



日本一の山、富士山へ

第27回町民富士登山

7月27日（日）、28日（月）、3年に一度開催されている「日野町民富士登山」が日野町体育協会の主催で行われ、参加者、スタッフ合わせて47名が参加されました。5合目出発時には、雨が降り始めましたが、まもなく止み、その後眼下に広がる景色は、雨のおかげでとてもくっきりと見ることができました。約6時間かけて8合目の山小屋に到着しました。山小屋で夕食と仮眠をとり、深夜1時半に山頂へ向けて出発。真っ暗な中、懐中電灯の光が連なり、幻想的な雰囲気となりました。午前4時40分頃には朝日が登り始め、登山者の波もしばし停止。経験豊かなリーダーの配慮のおかげで、安心して登山をすることができ、参加者それぞれに、心に残る登山となったのではないのでしょうか。



▲雨の中、8合目へ向けて登りました



▶泥んこになってひと味違ったバレーを楽しみました



▶飛び入り参加でジュースの早飲み競争

「納涼祭」―各地区で開催

鎌掛では町おこしの歌を披露

7月中旬から下旬にかけて、各地区で納涼祭が行われました。鎌掛地区では、先陣を切って、7月19日（土）に納涼祭が行われました。

ジュースやビールの早飲み競争やヨーヨーすくいなど、さまざまな催しが行われました。ステージでは、地元演歌歌手のにし朱里（あかり）さんが「日野小唄」、「石楠花小唄」などを披露されました。今回、これらの歌を町おこしのきっかけにと、町おこししゃくなげ会（代表：福本英一さん）を立ち上げられCDを制作されたとのこと。「日野はよいとこ」ほんまにホンニ」という歌詞もあり、改めて日野の良さを味わう夜となりました。

西大路ユースクラブ、活動復活!

泥んこバレーで地域が団結

7月20日（日）、大字平子の田んぼを利用し、「泥んこバレー大会」が行われました。この企画は、西大路地区の青年たちが結成する「西大路ユースクラブ」が活動を復活し行ったもので、田んぼを地元の方と一緒に耕し、約2か月かけてバレーができる状態に仕上げられました。当日は約24名が参加し、地元の方もたくさん見に来られていました。選手たちは、泥んこになりながらも、笑顔でバレーを楽しんでいました。

西大路ユースクラブ会長の徳井和昌（とくい かずまさ）さんは、「地元の方と一緒に、年齢を問わず幅広い交流を進めていきたいです」と語られました。



まちのわだい 夏特大号

地域の川は、地域で守る！

下迫自治会の皆さんと嘉田知事が対話

8月2日(土)、下迫ふれあいホールで、「知事とふれあい『座ぶとん会議』」が行われ、地元の方16名が参加されました。

下迫では、平成17・18年度に、地域を流れる迫谷川の景観・環境保全活動に取り組みました。油圧ショベルやタンブカーを地域の方が使用し、地域の方で川ざらえを行った経過を、知事に報告されました。この試みがモデルとなり、平成18年度は、県の新規事業「里川景観保全モデル事業」となりました。

「自分の庭を掃除するような感じですよ」という若い世代の声もあり、知事は「皆さんのつながりを見てみると安心します」と感想を述べられました。



▲知事を囲んで、和やかに懇談されました

日野が生んだ植物学者 橋本忠太郎の世界

記念シンポジウムで偉大さを再確認

8月6日(水)、日野町立図書館で、記念シンポジウム「湖国の牧野富太郎と言われた橋本忠太郎氏を顕彰する集い」が開かれ、スタッフを含めて約150名が参加されました。資料の展示は、3日(日)から8日(金)まで、図書館展示コーナーで行われました。

橋本忠太郎氏は、十禅師出身の植物学者で、膨大な標本を大変丁寧に残しておられました。

おはなしパズルの皆さんの協力により「デジタル紙芝居」が披露され、橋本氏の生い立ちをわかりやすく紹介。シンポジウムでは、橋本氏の功績を改めて確認し、孫である橋本正さんはしもとただしから、小さい頃のエピソードが話されました。

日野の偉人の一人として、皆さんに広く知ってもらおう機会となりました。



▶貴重な資料が展示され、約1000年前にタイムスリップしたようでした



▶パネラーには、橋本忠太郎氏のお孫さんが東京から駆けつけ、参加されました



▲実際にたくさんの植物も集められました

まちのわだい 夏特大号



今年も夏まつりにごきょうわう

氏郷まつり「夏の陣」

サマーフェスタinひの2008

8月2日(土)、役場北側駐車場で、『氏郷まつり「夏の陣」サマーフェスタinひの2008』が開催されました。

会場では、日野商人杯争奪金魚すくい大会や灯ろうコンテスト、懸賞付き盆踊り大会などが行われ、屋台村もにぎわっていました。今年初めて、石原区の立版古やイルミネーションの展示がされ、多くの方々立ち止まって見ておられました。今年は延べ13,000人が来場。最後の花火も、たくさんのお客様でにぎわい、盛大に締めくくられました。

日野商人杯争奪金魚すくい大会

【少年の部】優勝・塚本華歩(24匹)／準優勝・杉本光咲(15匹)／第3位・南川朋輝(14匹)

【一般の部】優勝・森篤史(28匹)／準優勝・上西窪真季(24匹)／第3位・辻下正雄(18匹)

灯ろうコンテスト

【少年の部】金賞・中井真愛／銀賞・瀧川幸奈／銅賞・岡純平

【一般の部】金賞・小谷真史／銀賞・小谷信子／銅賞・里本知佳

懸賞付き盆踊り大会

【団体の部】優勝・日野歌謡教室／準優勝・健康推進健康応援隊／第3位・日野町商工会女性部

【個人の部】優勝・池内美代子／準優勝・堀昭一／第3位・筒井誠 (敬称略)



▶真剣勝負の金魚すくい大会



▶桃太郎・金太郎を題材に、すべて手作り。石原区の立版古(※)

※立版古：昔話などの場面を、紙で立体的に見えるように作られたもの

ので、石原区では、江戸時代末期から石原神社の祇園祭時に奉納されてきたと言われています。



▲夜空を彩る美しい花火



▲上迫灯ろう会によるイルミネーション展示。エコロジーをテーマに、羽根の壊れた扇風機やペットボトルなどを使用されていました



▲曳山を中心に、個性豊かな盆踊り大会



まちのわだい 夏特大号

日野の希望の星、近畿・全国大会へ

日野中学生出場選手壮行会

8月7日(木)、役場特別室で、近畿大会および全国大会へ出場する日野中学校陸上部2名の壮行会が行われました。

「緊張を力にし、自信を持って臨んでもらいたい。自分の力を出し切って、がんばってきてください。」と町長の激励がありました。そして、お二人からは、大会に出場するにあたっての目標が宣言されました。

壮行会のあと、お二人は間近に迫った大会へ向け、早速練習へと向かわれました。



▲町長から激励の言葉が送られました

◆近畿中学校総合体育大会

女子 1500m
(8/9・10)

◆全日本中学校陸上競技選手権大会

女子 800m
(8/18・19・20)



▲奥井ひかりさん(3年)

最後なので、ベストを尽くして、3位入賞したいです。

◆近畿中学校総合体育大会

男子 走幅跳
(8/9・10)



▲西川智希さん(2年)

自己ベストを出して、8位入賞したいです。

5つ子かぼちゃが取れました!

堀江芳三郎さん・と志子さん(杣)



▲「5つ子かぼちゃ」(7月23日撮影)

「この夏、大変珍しいかぼちゃが実りました。通常、一つの茎からは一つのかぼちゃができます。今回取れた、堀江さんご夫婦が作られたかぼちゃは、一つの茎に5つのかぼちゃができたとのこと。今まで作ってこられて、初めてのことだそうです。

「小さいところもかわいくて、5つ子ちゃんのように」と、珍しいかぼちゃを毎日見ながら大切に育てられました。



▲お二人で畑仕事を楽しまれています